

(別紙4(2))

事業所名 アイランドジー・アイ小田グループホーム

目標達成計画

作成日：平成 25年3月11日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	18 19	グループホームホーム専門職員(GHエキスパートスタッフ)の育成 3年目を迎え、理念、運営方針、対応は理解されているが、まだまだ介護施設と家庭の中間に位置しているかのような職員の対応や生活作りが消えていない。	職員全員が、ホームでの生活全般において、家庭(ホーム)の嫁による介護シーンを強烈に意識し、嫁の介護に認知症介護の専門性を盛り込んだ介護ができることを目指す。つまり、『グループホーム エキスパート スタッフ』である。	話し合いの中での職員の意識改革の繰り返しで感性を養う 生活シーンで職員がとった行動に対し、その都度家庭での生活や介護の場面であれば どのようにあるべきだったかを問いかけ話し合い、職員の思考回路を理想のものにまとめ上げて行く。	12ヶ月
2	33	重症化のケア 及び 看取りケアへの準備	重症化や看取りに必要な『技術、知識の段階的習得』と、身内の気持ちの不快理解が出来得る職員への成長。つまり『心の育成』を目指す。	事業所内勉強会を通じて行う。	12ヶ月
3	17 19	家族との本音の交流が十分でないことにより、高度なレベルで今一つ家族からの信頼が得られ切れていない部分がある。	担当職員の人間的成熟度、予見の能力の向上。さらには、伝える力、訊きとる力などを養う。	事業所内勉強会を通じて行う。	12ヶ月
4	42	3つのスローガンの定着	3つのスローガンはかなり先駆的な取り組みであり、当社の各事業所の中でも最も充実されつつあるが、さらなる定着と完成度の高さを狙う。	各担当性により、専門的に追及してゆく対応を整え、実行する。	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。